



やま ざき まさ ゆき
山崎 正行

しみんくらぶ
市民クラブ

公共施設のネーミング ライツ公募について

問 厳しい財政状況（地方交付税の減額等）の中、いかに自主財源の確保に努めるのか。

ふるさと納税（PR不足）も極めて低く、また、年間広告料が平均800万円程度の中、公共施設のネーミングライツ（市内メジャー企業のブランド力）を生かした公募にて、現在掲げている年間目標をアップして財源確保に努めるべきである。

答 自主財源の確保については、各種収納率の向上を基本としつつ、平成27年度には年間1,200万円の収入を目標としている広告料収入等、多様な収入源について検証し、付加価値の高いものに取り組むことができたかと考えている。

公共施設に係るネーミングライツについては、確かに歳入確保につながる大変効果のあるものと認識しているが、一方で市民にとっては、長い歴史の中で公共施設に対する親しみもあり、特にその名称に関しては市民も愛着を感じているものと考えている。

歳入確保優先で市民に違和感のある形では逆効果の面もあり、市民に理解の得られるネーミングライツの進め方について研究していきたい。

●その他の質疑・質問●

- 公共施設の管理・委託契約を公契約で市内業者優先の徹底
- 災害対策本部（本庁8階）の予備に消防本部の併用を
- 小・中一貫教育の理念と週6日制に向けた取り組みは
- 学校サポートセンターと養護教員（OB）の活用について
- 風力発電機事故での地元説明と起因する環境問題はなかったのか



▲平成28年度オープン予定の屋内スポーツ施設のイメージ図



は せ が わ ゆ き こ
長谷川 幸子

にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

風疹予防接種の公費 助成を早急に

問 昨年夏の風疹患者の急増以来、今年はこれまで最多の患者数が続いている。流行を抑えるには、20代～40代の男性に予防接種を受けてもらうことが効果的で次世代の子どもを守るためにも重要である。妊娠初期の女性がかかった場合、胎児に「先天性風疹症候群」と総称される障がいが出る恐れがある。風疹予防接種への助成制度を早急に創設するよう求める。

答 風疹の予防接種に係る助成については、これまでから市として検討を重ねてきたところである。

県からの実施の意向確認に対しても、実施したい旨、伝えていたところであるが、6月6日の三重県知事の記者会見において速やかに実施するとの発表があった。

その内容は、助成額を県と市町で半額ずつ負担するというものであるが、制度の詳細が明らかになり次第、早急に実施に向けた準備をしていきたいと考えている。

助成に係る経費については、現行の予防接種予算の中で対応するか、別途、新たな予算措置を講じるかについて検討し、市議会に制度・予算の2点を報告の上、実施したいと考えている。

●その他の質疑・質問●

- 「少子高齢化」対策で安全・安心の暮らしやすい津市に
 - ・子育てしやすい環境の整備を
 - ・学校給食無料化の実現を
 - ・こども医療費の窓口無料の実施を
- ・若者の働く場と住居の確保を
- ・高齢者が安心して暮らせる医療・介護の充実を
- 阿漕浦・御殿場海岸の松枯れ対策を早急に など



▲「白砂青松」の阿漕浦・御殿場海岸の松枯れ対策を早急に